

日本初！野生のニホンライチョウからの精液採取 と人工繁殖に成功しました！

横浜市繁殖センターは、東京都恩賜上野動物園と共に、令和6年5月25日から26日にかけて、乗鞍岳において、日本初となる野生ライチョウからの精液採取に成功しました。

採取された精液は、乗鞍岳から近隣の富山市ファミリーパークへ冷蔵輸送後、同パークにより飼育雌へ注入されました。その後、6月28日に雛2羽が誕生し、日本初となる野生雄の冷蔵精液を用いた人工繁殖に成功しました。

なお横浜市繁殖センターは、令和3年度から上野動物園と共にニホンライチョウの人工繁殖技術の開発に取り組んでいます。



ニホンライチョウ（飼育雄）と野生雄からの採精

取材について

防疫上の観点からライチョウの取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。なお、孵化した雛は富山市ファミリーパークで飼育されています。

本件は、環境省、(公社)日本動物園水族館協会、(公財)富山市ファミリーパーク公社、東京都恩賜上野動物園と同時発表しています。

お問合せ先

みどり環境局 動物園課長 白井 智廣 Tel 045-955-1911

裏面あり

【参考資料】

■ニホンライチョウについて

学名	<i>Lagopus muta japonica</i> (ライチョウの日本産亜種)
分類	キジ目キジ科ライチョウ属
分布	本州中部の高山帯。現在、繁殖が確認されている山岳は、火打山と焼山、北アルプス、乗鞍岳、御嶽山、南アルプス、中央アルプス
生態	標高 2,200mから 2,400m以上の高山帯で繁殖し、冬季に積雪の多い山岳では森林限界やそれ以下の亜高山帯まで下りて生活する。主な食物は高山植物の芽、種子などの植物質。春から夏には昆虫類なども食べる。メスは6月にハイマツなどの根元など地上に窪みを作って巣とし、6卵ほど産卵する。
希少性	環境省レッドデータブック 絶滅危惧 IB 類 (EN) 国指定特別天然記念物
飼育状況	富山市ファミリーパーク、恩賜上野動物園、大町山岳博物館、那須どうぶつ王国、いしかわ動物園、茶臼山動物園、金沢動物園、横浜市繁殖センターの8園館において57羽(オス31羽、メス26羽)を飼育(令和6年5月31日現在)

■ 横浜市繁殖センターについて(非公開施設)

希少動物の保全及び繁殖を通して生物多様性の保全に貢献しています。これまで、カンムリシロムクの野生復帰やカグーやミソゴイ等の飼育下繁殖に成功してきました。

また、国内の動物園としては初めての研究を目的とした実験設備を備え、希少野生動物の亜種判定や個体間あるいは種間の近縁関係、雌雄判別などに関する遺伝子解析や繁殖生理解明のための性ホルモン動態の解析など、「種の保存」に関わる研究を行っています。さらに、横浜市立動物園の動物からの精子、卵子、組織の収集・凍結保存、人工授精等を試み、遺伝資源の保存にも取り組んでいます。

◆URL: https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo_garden/hanshoku/

◆住所: 横浜市旭区川井宿町 155-1

◆問合せ先: 045-955-1911

